

メッセージ

「矢祭子ども司書」の認定を受けた子どもたちへ

「矢祭子ども司書」の認定を受けた十四名の子どもたちに、心から
のお祝いの言葉を贈ります。

子ども時代に本に親しみ、感動した本や勇気をもたらした本や大事な
気づきを得た本と出会った経験は、その人の一生を通じて「心の財
産」となるものです。

本には、人の心を育てる大事なことや、生き方を考える道しるべと
なることが、いろいろな表現で書かれています。子ども時代に読んだ
ときには、そのことに気づかなくても、大人になってから、ふと気づく
こともあります。とくに深く感動する本との出会いは、その人の人生
を決めるほど大きな意味を持つものです。

みなさんが子ども司書を目指して、一年間学んだことは、もし子
ども司書にチャレンジしなかったら、体験することも知ることもなく、
過ごしてしまっただに違いありません。すばらしい学びをしたわけでは
ね。

みなさんは、これからこれまで以上に本に親しみを感じるようにな
るでしょう。そして、子ども司書として学んだことは、本をより深
く味わったり学んだりするうえで、知らず識らず役立つに違いないと
思います。とても貴重な学びの体験なのですから、しっかりと心に刻
んでください。よく頑張ったね！

おめでとう！

平成二十二年二月二十日

ノンクション作家

柳田 邦男